

ベリーズ犯罪等発生状況（令和８年６月分）

〔殺傷事件・銃撃事件関連〕

６月１日〔刺傷事件〕 午前８時３０分頃、カヨ郡バレー・オブ・ピース村において、地元建設作業員の男性（２０歳）が刺される事件が報告された。事件は前日の５月３１日の夜、被害男性は同村の酒場で友人達と過ごしていた。被害男性は、酒場のトイレで他の女性客に不適切な行為をしたため酒場の店主に追い出され、外に出たところで知人男性Ａが近づき顔を殴られた。さらに、男性Ａは地面に倒れた被害男性の背中を刃物で刺して逃走した。被害男性は西部地域病院へ搬送され容態は安定している。警察は、事件の捜査を続けている。

６月２日〔銃撃事件〕 午後６時３０分頃、スタンクリーク郡ポモナ村において、未成年の少年（１６歳）が銃撃され負傷する事件が発生した。警察によると、村の食料品店の外に、友人グループと一緒にいた少年らのところへ、オートバイに２人乗りした不審人物らが近づき、後部座席に乗っていた人物が拳銃を取り出しグループに向けて発砲した。警察は現場周辺の監視カメラの映像を確認し、捜査を進めている。

６月２日〔銃撃事件〕 午後９時頃、スタンクリーク郡ダングリガ町リバーサイド・エステート地区において、男性（１９歳）が銃撃され負傷する事件が発生した。警察によると、被害男性が同地区のとある建物内に入ろうとした際に、近くに停車していた車から複数発砲された。銃撃を受けた被害男性は、その後、通報を受けた警察により病院へ搬送された。なお、警察は被害男性が入ろうとした建物は、違法薬物や違法銃器類の取締りのため捜査班が頻繁に出入りしていた建物であったと指摘した。引き続き、事件の捜査を進めている。

６月１３日〔銃殺事件〕 午前１０時頃、ベリーズ市アルバート通りにおいて、公務員の男性（２９歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性は同通り沿いのベリーズ銀行近くに車を停車していたところ、オートバイに乗った不審人物が近づき拳銃を取り出して発砲した。被害男性は、駆けつけた警察により車内から救出され、カール・ヒューズナー・メモリアル・ホスピタル（KHM病院）へ救急搬送されたが、その後、死亡が確認された。なお、２００７年に殺害された被害男性の父親は、国内では伝説的なギャングのリーダーであり、被害男性の家族は母親を除き、親兄弟はいずれも銃撃され死亡している。警察は、地元ギャング組織の犯行を視野にいれつつ、慎重に捜査を続けている。

６月１３日〔銃殺事件〕 午後９時頃、ベリーズ市レイクビュー通りにおいて、男性が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性は頭部を銃撃されており、一般市民により公開されたオンライン動画の映像には、地面に倒れている被害者が映っていた。なお、

被害男性は、同市のコールセンターで勤務しており、前日に管理職へ昇進したばかりだった。警察は、ターゲットを絞った襲撃とみて捜査を進めている。

6月20日【銃殺事件】 午後1時頃、ベリーズ郡ハッティビル村のバス停において、サンタ・エレナ在住の妊婦（19歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、殺害された妊婦は、ベリーズ中央刑務所へ収監中の兄を訪ねた後、同村のバス停で帰りのバスを待っていたところ、オートバイに乗った不審人物が近づき、銃撃された。警察は、収監されている妊婦の兄の事件の報復事件とみて捜査を進めている。

6月21日【銃撃事件】 午前3時頃、カヨ郡サンタ・エレナ町サンタ・マリア通りにおいて、男性（年齢不明）が銃撃され負傷する事件が発生した。警察によると、被害男性が同通りを歩いていたところ、拳銃を持った不審人物に銃撃された。被害男性はその後、西部地域病院へ搬送され治療を受けている。警察は、この事件の犯行動機は不明としているも、何かしらの報復事件に巻き込まれた可能性があるとして捜査を進めている。

6月22日【銃撃事件】 午前0時15分頃、ベリーズ郡レモナル村において、警察官の男性（38歳）が銃撃され負傷する事件が発生した。警察によると、被害男性は友人宅にて開かれた夕食会に参加していたところ、その場にいたベリーズ国防軍（BDF）の退役兵士と激しい口論となり、被害男性が元兵士を斧で切りつけたため、元兵士は拳銃を取り出し被害男性を銃撃した。被害男性は左胸と左肩を撃たれ、両名はKHM病院へ搬送され治療を受けた。警察は、両名の回復を待つて事情聴取を行う予定である。

6月25日【銃撃殺傷事件】 午後8時頃、ベリーズ郡ローズ・バンク村において、3人の男性（二十代と十代）が銃撃され、その内、十代の男性（19歳）1名が死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性らは、同村で他の村人達と過ごしていたところ、拳銃を所持した不審人物が突然現れ発砲してきた。この銃撃により負傷した3名は、KHM病院へ搬送されたが、十代の少年は治療後、死亡した。警察は、死亡した十代の男性は違法銃器関連の容疑がかけられていたことを鑑み、何かしらの抗争に巻き込まれた可能性があるとして捜査を進めている。

6月28日【銃殺事件】 午前5時頃、スタンクリーク郡ダングリガ町ベングチョ地区において、少年（16歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、死亡した少年は事件当時、自転車に乗って移動していたところ、オートバイに2人乗りした不審人物に近づくかれ、後部座席に乗っていた人物に銃撃された。警察は、殺害された少年と容疑者らの間でトラブルがあったとみて捜査を進めている。なお、この事件の容疑者である男性（25歳）と少年（17歳）は逮捕されており、後日、正式に起訴された。

6月28日【銃撃事件】 午前3時頃、オレンジウォーク町において、男性（28歳）が負傷する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性が友人と車に乗って移動していたところ、別の車両が近づいてきて複数回発砲した。被害男性は負傷したが、病院に搬送され容態は安定している。警察は犯行動機を特定できていないが、被害男性は以前に誰かとトラブルになったことがあり、その人物が被害男性を尾行していた可能性があるため捜査を進めている。

6月29日【銃殺事件】 午前8時30分頃、サンペドロ町トレス・ココス地区にあるスーパーマーケットにおいて、3人が負傷、うち2名が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、死亡したのは同店の警備員と購入客であることが確認されている。同店は、昨年12月にグランドオープンした3日後に侵入放火事件があり、改装後、6月22日に再開してからわずか1週間後に再び事件が発生した。警察は、以前の事件と何かしらの因果関係があるとみて捜査を進めている。

【強盗事件・窃盗事件関連】

6月1日【武装強盗事件】 午後8時45分頃、サンペドロ町サンペドリット地区の商店において、強盗事件が発生した。警察によると、被害に遭った店のグアテマラ人店主（50歳）から事件発生の通報があった。男性購入客が、数店の商品を選びレジに持ってきたところ、拳銃を取り出し、レジの中の金を渡すよう店主を脅した。命の危機を感じた店主は、レジの金（金額不明）を強盗犯へ渡し、犯人はそのまま逃走した。警察は、犯人の行方を追って捜査を進めている。

6月4日【住居侵入強盗事件】 午前9時30分頃、カヨ郡クリスト・レイ村において、住宅への侵入窃盗事件が発生した。警察によると、不審人物2名が侵入し、家主の女性（66歳）を拳銃で脅し拘束した。強盗犯らは家の中を荒し、保管されていた銃器類と宝飾品をバックに詰めていたところ、近隣住民の通報により駆けつけた警察を見て逃走した。警察はすぐに追跡を開始し、容疑者1名を拘束した。盗まれた宝飾品等は回収され、被害女性のもとへ返還された。

6月14日【窃盗事件】 午前9時頃、ベリーズ市セント・マーティン・デ・ポレス地区において、男性（19歳）が他人のカードを使用した罪で逮捕、起訴された。警察によると、容疑者の男性は、同地区の通りに駐車していた車両から財布を盗み、中に入っていたデビットカードを使用して721ベリーズドル（約5万5千円）分の買い物をした。その後、購入通知を受けた被害者が警察へ通報し、購入店舗の監視カメラ映像を確認、容疑者を特定した。

警察は、捜査令状を基に容疑者の自宅を家宅捜査し、購入したと思われるテレビ2台を押収し、容疑者は逮捕、起訴された。

6月17日【窃盗事件】 午前10時頃、ベリーズ郡サンド・ヒル村在住のトラック運転手の男性（33歳）が窃盗容疑で起訴され、ベリーズ地裁へ出廷した。この裁判は、被告が6月13日に同郡内にあるスコットランド・ハーフムーン村において、女性から90ベリーズドル（約7千円）のカメラを盗んだことに端を発している。地裁判事は、4,500ベリーズドル（約35万円）の保釈金とその保証人1名の指名、被害女性から100ヤード（約91m）以内に近づかず、干渉しないことを条件に保釈を認めた。

6月29日【強盗事件】 午前2時30分頃、ベリーズ市のノヴェロ・バスターミナルにおいて、銃で武装した覆面男3人による強盗事件が発生した。警察によると、バスターミナルで勤務していた警備員が襲撃され、事務所に保管していた800ベリーズドル（約6万円）と携帯電話2台が盗まれた。被害者から通報を受けた警察は、近隣の防犯カメラ映像の解析を進め、逃走した容疑者らの行方を追っている。

6月29日【窃盗事件】 午前10時頃、ベリーズ市在住の建設作業員の男性（21歳）が、窃盗の罪により逮捕、起訴され、ベリーズ地裁へ出廷した。事件は、6月24日に発生し、男性が同市内で他人の自転車（300ベリーズドル（約2万3千円）相当）を盗んだことに端を発している。その後、男性は、被害者から通報を受けた警察に逮捕され、起訴された。地裁判事は被告が初犯であり反省の意を示したため、2千ベリーズドル（約15万円）の保釈金とその保証人1名、被害者から32ヤード（約30メートル）以内に近づかず、干渉しないことを条件に保釈を認めた。

6月29日【窃盗事件】 午後11時頃、ベリーズ市在住のベリーズ国防軍の女性兵士（35歳）が、窃盗の罪により逮捕、起訴され、ベリーズ地裁へ出廷した。事件は、6月26日に発生し、女性兵士が他人の高級衣類とノートパソコン（総額9,200ベリーズドル（約70万円）相当）を盗んだことに端を発している。女性兵士は、被害者から通報を受けた警察に逮捕され、起訴された。被告は保釈を求め、地裁判事は検察官からの異議がなかったため、2,500ベリーズドル（約19万円）の保釈金とその保証人1名を立てることで保釈を認めた。

【違法薬物・違法銃器類関連】

6月1日【違法銃器類の所持】 午前1時頃、トレド郡プンタ・ゴルダ町フロント通りにお

いて、男性（２２歳）が登録のない拳銃を所持していたとして逮捕された。警察によると、男性は、同町にてパトロール中の警察を見て逃走したため、不審に思った警察が追跡を開始し、男性を拘束した。その後、身体検査を行ったところ実弾１８発が装填された９mm拳銃を発見し、男性が武器の所持許可証を持っていなかったため、逮捕、起訴した。

６月１日【クラックパイプの所持】 午前１０時頃、ベリーズ市在住の男性（６７歳）がクラック・コカイン吸引用の器具（クラックパイプ）を所持していた罪で逮捕、起訴され、ベリーズ地裁へ出廷した。検察は、このパイプが違法薬物の吸引目的に改造されたものだと延べ、被告はこれを認めた。地裁判事は、当初は罰金刑の判決を下したが、被告に支払い能力がなかったため、懲役刑へ変更し、被告はベリーズ中央刑務所へ収監された。

６月３日【違法銃器類の所持】 午前１時３０分頃、トレド郡プンタ・ゴルダ町において、男性（２３歳）が許可証を申請せずに銃器類を所持していた事件が発生した。警察によると、同町をパトロール中の警察がオートバイに２人乗りした若者らを発見し、近づいたところ逃走したため、追跡を開始した。途中、追跡していたオートバイの後部座席に乗っていた男性が、オートバイから転落したところを拘束し、身体検査を行ったところ、持っていたリュックサックから９mm口径の拳銃と実弾１８発を発見した。この男性はその場で逮捕され、後日起訴された。なお、警察は、逃走したオートバイの運転手の行方を追っている。

６月６日【違法銃器類の摘発】 午前９時頃、ベリーズ市クラール道沿いにある住宅において、許可証を申請せずに銃器類を所持していた事件が発生した。事件は、匿名で違法に銃器類を所持しているとの通報を受けた警察のパトロール部隊が通報のあった住宅を家宅捜査したところ、９mm口径の拳銃と実弾７発を発見した。この事件で家の中にいた女性１名（３６歳）と、未成年者を含む男性４名（３７歳、３０歳、２７歳、１６歳）が逮捕、起訴された。後日法廷で、女性を含む４人の成人グループの保釈は棄却され、１６歳の被告には、３,０００ベリーズドル（約２３万円）の保釈金とその保証人１名で保釈が認められた。

６月６日【違法銃器類の所持】 午前１０時頃、スタンクリーク郡ダングリガ町ヤンパ通り沿いの住宅において、男性（２１歳）が許可証を申請せずに銃器類を所持していた事件が発生した。警察によると、警察の特別部隊が同町の一斉捜索を実施した際、男性の自宅から９mm口径と実弾１４発及び、実弾が装填された３８口径の拳銃を発見した。警察は、男性をその場で逮捕、拘束した。

６月９日【違法銃器類の所持】 午後４時３０分頃、ベリーズ市セントラル・アメリカン通りにおいて、タクシー運転手の男性（３０歳）が許可証を申請せずに銃器類を所持していた事件が発生した。警察によると、匿名からの情報提供を受けた警察が男性の運転していたタ

クシーを捜査したところ、38口径の拳銃と実弾14発を発見した。男性はその場で逮捕、拘束された。

6月15日【**違法薬物の所持**】 午前10時頃、ベリーズ市在住の工場勤務の男性（24歳）が、密売目的でマリファナを所持していた罪でベリーズ地裁へ出廷した。事件は、被告が規定量（10グラム）を超える115グラムのマリファナを所持していたことに端を発している。被告は法廷での有罪答弁で密売目的であることを否定し、保釈を求めた。地裁判事はこの証言を認めなかったが、検察側からの異議がなかったため、保釈金2,500ベリーズドル（約20万円）とその保証人1名を立てることを条件に保釈を認めた。

6月16日【**麻薬密売**】 午後8時頃、トレド郡ビラ・ベスタ村において、男性（26歳）が密売目的でクラック・コカイン3.4グラムを所持していた罪で逮捕された。なお同日、同郡のプンタ・ゴルダ町のバスターミナルにおいても、別の男性（65歳）が密売目的でクラック・コカイン約57グラムを所持していた罪で逮捕されている。この男性らは、警察の調査が終わり次第、同日中に起訴された。

6月17日【**違法薬物の所持**】 午前10時頃、ベリーズ市在住の建設作業員の男性（21歳）が密売目的でマリファナを所持していた罪でベリーズ地裁へ出廷した。被告は、6月12日に車を運転して移動していたところ、パトカーに呼び止められたが、車を乗り捨て逃走した。警察が乗り捨てられた車内を捜索したところ、規定量（10グラム）を超える234グラムのマリファナを発見した。後日、男性は警察署へ自首し、逮捕、起訴された。

6月17日【**クラックパイプの所持**】 午後2時頃、ベリーズ市在住の男性（60歳）がクラックパイプ（違法薬物吸引用の器具）を所持していた罪で、ベリーズ地裁へ出廷した。なお被告は、2ヵ月前にも同様の罪で罰金に科せられている。地裁判事は、今回も被告へ355ベリーズドル（約2万6千円）の罰金を科し、期日までに前回分と併せて支払わなかった場合、3か月間の懲役になると警告した。

6月24日【**違法薬物の所持**】 午前10時頃、ベリーズ郡サンド・ヒル村在住の男性（54歳）が量不明のクラック・コカインを所持していた罪でベリーズ地裁へ出廷した。事件は、被告がベリーズ市サザン・フォアショア（同市南部地域の海に面した通り）で警察の身体検査を受けたことに端を発している。この時、被告のポケットから違法薬物が発見され逮捕、起訴された。地裁判事は被告に対し、355ベリーズドル（約2万6千円）の罰金を科した。

6月25日【**クラックパイプの所持**】 午後1時頃、ベリーズ市在住の男性（27歳）と女性（34歳）がクラックパイプを所持していた罪でベリーズ地裁へ出廷した。事件は、同市

内のユーフラテス通りを被告らが歩いていたところ、警察に呼び止められ身体検査を実施、被告らの所持品の中からクラックパイプが見つかり、逮捕、起訴された。地裁判事は、男性の被告に対し、初犯のため105ベリーズドル（約8千円）の罰金を科し、女性の被告には前科があったため355ベリーズドル（約2万6千円）の罰金を科した。

6月26日【**違法薬物の所持**】 午前10時頃、ベリーズ市在住の男性（30歳）が粉末コカイン0.2グラムを所持していた罪でベリーズ地裁へ出廷した。事件は、被告が友人宅から帰宅する途中、警察の検問所にて粉末コカインの所持が見つかり、逮捕、起訴された。地裁判事は被告に対し、355ベリーズドル（約2万6千円）の罰金を科した。

6月29日【**クラックパイプの所持**】 午後10時頃、ベリーズ郡ハッティビル村在住の女性（43歳）がクラックパイプを所持していた罪でベリーズ地裁へ出廷した。事件は、ベリーズ市のテイラーズ・アレーを巡回中の警察官がクラックパイプを所持している被告を発見し、逮捕、起訴した。地裁判事は、同様の事件で被告が過去に3件以上の有罪判決を受けていたため、懲役6ヵ月の実刑判決を下した。

【その他事件・事故関連】

6月3日【**不法入国**】 午前10時頃、メキシコ国籍の男性2人が、滞在許可証（在留資格）を所持していなかった罪でベリーズ地裁へ出廷した。被告らは装飾品を積んだ車両で移動中、ベリーズ市の検問所で検査を受けた際、滞在許可証を所持していなかったため、その場で拘束され、起訴された。地裁判事は両被告に対し、1,005ベリーズドル（約7万5千円）を科し、支払い後、メキシコへ強制送還した。

6月6日【**暴行事件**】 午前11時頃、ベリーズ市に所在するマートン・ロバーツ公立総合診療所において、医師と看護師がケガをする暴行事件が発生した。警察によると、足の指を切ったとして、女性（38歳）が診療所に診察を求めた。この際、医師は他の患者の診察をしていたが、女性が許可なく診察室に入り、すぐに診察するよう要求した。医師が順番を待つように女性へ促したところ、女性が医師の左顔面を殴打し、仲裁に入った看護師も同様に左顔面を殴られた。女性は通報により駆けつけた警察に拘束され、後日、起訴された。

6月12日【**人身売買**】 午前10時頃、スタンクリーク郡ダングリガ町在住の中国人男性（40代）が、過去に人身売買をした罪でダングリガ高裁へ出廷した。事件は、2019年頃から断続的に続いており、当時、ホンジュラス人女性3人に対して、ウェイトレスの仕事があると声をかけた被告が、不法に女性らをベリーズに入国させ、自身が経営するバーで売

春行為を強要した。その後、被害女性らの訴えにより、被告は2020年10月に起訴され、性的搾取の目的で女性を人身売買し罪により有罪判決を受け、ベリーズ中央刑務所に拘留された。その後、被告は1万5千ベリーズドル（約112万円）で保釈されたが、最近になり、再び拘留された。

6月17日【不法滞在】 午前11時頃、ニカラグア国籍の男性（22歳）が、不法滞在していた罪でベリーズ地裁へ出廷した。被告が別の事件で警察署にいたところ、駆けつけた入国管理局の職員からビザの提示を求められた際に、被告は有効なビザを提示できなかったため、正式に起訴された。地裁判事は、被告に対して罰金1,005ベリーズドル（約7万5千円）の即時支払いを命じたが、被告が罰金を支払えなかったため、3ヵ月間の禁固刑を言い渡した。なお、被告は刑期を終えた後、ニカラグアへ強制送還される。

6月29日【家庭内暴行（DV）】 午後8時頃、ベリーズ郡レディビル村レイク・ガーデン地区において、グアテマラ人男性（29歳）が内縁の妻である女性への暴行事件が発生した。警察によると、加害男性から通報を受けた警察が現場へ急行したところ、リビングで意識不明の被害女性を発見した。警察は女性をKHM病院へ救急搬送し、男性に対して事情聴取をしたところ、男性は日常的に女性へ暴力を振るっており、この日は女性と口論になり、体中をほうきで殴打したという。男性はその場で拘束され、後日正式に起訴される。